

## 吹上浜のハマスズの現状

藤平 明<sup>2</sup>

ハマスズ *Pteronemobius csikii* Bolivar は海岸の砂浜という特殊な環境に生息するということと希少性から県レッドデータブックで B ランクに指定されている。

このハマスズは吹上浜の西方にかなりの密度で見られる。ところが本種が巣を造るところはやや傾斜した面に多い。ところが、車が砂浜に乗り込む付近が営巣の多い場所であり、またここが無法に走り回る四駆の恰好の楽しみ場所となっている。

さらに、キャンプ場からはみ出たキャンパーがテントを張ったり、団体で来た人達が宝探しゲームで砂を掘り返したり、特に砂を採掘する人もいる等過剰な利用が問題視される。

特にキャンプ場の海側は、貴重な海浜植物も多い場所なので何らかの保護対策が必要と思われる。

(ふじひら あきら)

## ウスイロコノマチョウの採集記録

堀田 久<sup>3</sup>

筆者は洲本市安平町において、ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda* を採集したので報告しておきたい。

なお、この個体は筆者宅の近くにあるミカン畑の草むらから飛びたつたもので、羽化直後らしく、極めて新鮮で体もまだ柔らかい感じであった。

1998年10月28日

1♂ 洲本市安平町北谷



## クロコノマチョウの吸汁について

堀田 久<sup>3</sup>

近年、クロコノマチョウ *Melanitis phedima* は、淡路島全体に分布を広げており、洲本市安平町北谷の筆者宅周辺においても個体数が増加し、その生態を観察する機会も多くなった。

1998年6月28日の夕方には、筆者宅のそばにあるナルトミカンの腐果(枝に付着したままのもの)で、果汁を吸っているのを観察したので報告しておく。なお、吸汁時間が長く、約40分間同じ位置で吸汁するのを確認している。

(ほりた ひさし)

3: 〒656 2124 洲本市安平町北谷 630